

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

花粉症 春の困った同伴者

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



いよいよ春。待ち望んだだけあって、やはりウキウキしますね。若干引きこもり気味でしたが、カメラ片手に外へ出かけたくなりました。

しかし春は困った同伴者を連れてきます。そう、花粉症です。かく言う私も悩まされる一人です。

もう35、36年前のこと。東京の空気の悪い街に住んでいた頃、ある日妻のクシャミが止まらなくなりました。愛する夫の務めとして、なぐさめ、何が効くのかを真剣に調べました。陣痛の痛みを共有すれば少し楽になるという話を聞いて、自分も花粉症になれば、少しは妻が楽になるのではと本気で思いました。

そこで空気のきれいな所が良いだろうと、郊外に転居しました。これが思えば敵陣に乗り込む形になったんですね。晴れた日は山がかすんで見えました。あれは花粉だったのかもしれない。

ある日突然私にもやってきました。クシャミが止まらず、目はかゆいし、鼻水も出る。早速検査すると「花粉症。スギだよ、スギ」と医師が宣告。ちよつと口元に笑みが浮かび悪魔に見えました。目の前が真っ暗、だからといって妻もよくはなりません。

その日から目薬とティッシュが欠かせなくなりました。

医師は「残念ながらスギの無いところに住むしか特效薬はない」と言い、どこかと言えば「北米か北海道。スギの種類が違うので大丈夫」とのこと。その後縁あって北海道へ戻りました。夏のことでしたし、周りにスギも見当たらないので、これで一安心、と思っていました。

しかし翌春、突然目をかゆみがおそいました。目玉を取り出して水洗いしたいぐらいつらく、鼻が詰まり、頭はポーンとする。さらにリンゴをかじると耳やのどがチリチリ

する。恐る恐る調べたらなんとシラカバの花粉症とのこと。シラカバってもっとロマンチックじゃないの？と思っても後の祭り。

この症状は6月中旬突如消えます。そのときの頭スッキリ、爽快感は抜群で、5月の連休から始まった善行の1カ月半がうそのようです。

医療の進歩はすごい、はず。こんな花粉症なんか、すぐに解決できるんじゃないですか。あまりにも情けない病気なので力が入らないのです。どうか。飲んだら一発で治るといふ特效薬が、本当はできているんじゃないですか？ エライ方にお願います。どうか助けてやってください。

ちなみに現在は友人紹介のサプリメントが合ったようで、無罪放免ではありませんが、ずいぶん楽になりました。もちろん春が来るとまだドキドキしますが。